

みんなで

海

のことを考え、
に親しみ、
を大切にしましょう。

7月20日は
国民の祝日「海の日」です

● 祝日「海の日」誕生 ●

私たちの国は、四方を海に囲まれた海洋国で、昔から外国の文化伝来をはじめ、人や物の輸送、産業、生活などの各分野にわたり海に深くかかわってきました。7月20日は、昭和16年以來「海の記念日」として、海の果たす役割と重要性について理解と認識を深めていただくため、全国各地でいろいろな行事が開催されてきました。

今年から「海の恩恵に感謝し、海洋国日本の繁栄を願う」日として、国民の祝日「海の日」とされました。

海に囲まれた「私たちの国」

日本は、大小6,852の島々から成り立っています。面積は37万km²で米国の約25分の1ですが、海岸線の長さは33,889kmで、米国の約1.6倍です。

海は私たちの「暮らしの道」

はるか昔から、海は世界と日本を結ぶ道。海上輸送は、私たちの生活や加工貿易立国である日本の産業を支え、発展させてきました。

海は私たちの「食文化」

新鮮な魚介類など豊かな「海の幸」は、私たちの栄養を支え、食文化を発展させてきました。

海は私たちの「いこいの場」

海水浴、釣り、潮干狩り、マリンスポーツ、客船クルーズ、文芸、絵画など、海は私たちの心を豊かにしてくれます。

楽しかった！

船上運動会・カヌー

～ 少年の船沖繩体験航海 ～

B & G財団主催による国内体験航海「少年の船」が3月26日から4月1日まで行われました。

東京港晴海ふ頭から「新さくら丸」で出航し、沖繩で海洋性スポーツや南部戦跡を見学するなどの研修が行われ、白浜小から伊藤淳也君が、東陽小から石川真梨子さんが参加しました。

沖繩の歴史を勉強

伊藤 淳也(白浜小)



僕が少年の船に参加したきっかけは、募集を見て、参加した人達の写真がとても楽しそうだったし、沖繩へも行ってみたかったからです。

僕は今までに学校の宿泊研修や母の実家に1人で泊まったりはしたことがあるけれど、行く前は少し心配

でした。でも研修がはじまれば、すぐに友達もできたり、船の中の生活も楽しかったです。

7日間で印象に残っているのは、まず2日目の夜のテーブルマナーの研修で、ファミリーストラップでは1・2本のフォークやスプーンで料理を食べるけれど、たくさんフォークやスプーン、ナイフが並んでいて、はじめはどのようにしようかと迷いましたが、使い方を教えてもらい、これからは役に立ちそうなのでよかったですと思いました。

また、船の上での運動会も楽しかったです。僕達の組は、玉入れで13個入れることができ、途中までは最高記録だったが、最後に他のチームに抜かれてしまい、とても悔しかったです。

夜の星座教室では、いろいろな星座がたくさん見え



石川真梨子さん

中でも今話題になっている「百武すい星」が少しぼやけていたけれど見えて、とても感激しました。

5日目からは伊計島で海洋性スポーツが行われ、特にカヌーやドラゴンボートは楽しかったです。

今年には戦後50年と言うことで、テレビで戦争や沖繩の基地についてのニュースを見ていたし、沖繩では基地返還の要求デモを見た。帰って来てから、母が借りて来た「ひめゆりの塔」のビデオを見たけれど、当時の沖繩の人達は大変な思いをしていたのだなと思いました。

今度の経験はいろいろな意味で、とても勉強になりました。

沖繩へは、もう一度行ってみたいと思うし、またこんな機会があったらぜひ参加したいと思いました。